

# 静岡県緑化推進計画

## 【取組個票・管理指標編】

静岡県緑化推進計画では、計画に掲載した取組のうち主なものについて取組個票を作成するとともに、管理指標を設定して、進捗を管理します。

【取組個票・管理指標編】は、取組の進捗状況、上位計画や関連する計画の策定（改定）、社会経済情勢の変化等に対応して、取組の内容、スケジュール等を柔軟に見直していくため、本編と分けて作成しています。

静岡県

2021年8月

白 紙

# 目次

## 1 主な取組 個票・令和2年度評価シート

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名		ページ
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	4
	2	花の都づくり	経済産業部	農芸振興課	6
	3	花育活動(寄せ植え)	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	8
	4	【取組名変更】里山学習施設 の管理運営及びプログラムの 提供	くらし・環境部	環境ふれあい課	10
	5	森林環境教育プログラムの提供	くらし・環境部	～R2 環境政策課 R3～ 環境ふれあい課	12
	6	しずおか棚田・里地くらぶ	経済産業部	農地保全課	14
	7	ふじのくに色彩・デザイン指針	交通基盤部	景観まちづくり課	16
	8	豊かな暮らし空間創生	くらし・環境部	住まいづくり課	18
	8-2	安全で美しいいえなみ整備	くらし・環境部	住まいづくり課	20
	8-3	【追加】みどりの住環境 整備事業	くらし・環境部	住まいづくり課	22
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、管理支援	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	24
	10	芝生アドバイザーの育成・活用	静岡県グリーン バンク、 芝草研究所	(環境ふれあい課)	26
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	(環境ふれあい課)	28
	12	工場緑化セミナー	経済産業部	企業立地推進課	30
	13	県営都市公園の指定管理に よる芝生の良好な維持	交通基盤部	公園緑地課	32
(3) 花と緑による おもてなし空間の創造	14	花と緑のおもてなし空間 整備支援	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	34
	15	公共施設の緑化	各部	県営施設所管課	—
		(県庁本庁舎)	経営管理部	資産経営課	36
		(県立美術館、地球環境史 ミュージアム、グランシッ プ、舞台芸術公園)	スポーツ・文化観光部	文化政策課	38
		(日本平夢テラス)	スポーツ・文化観光部	観光政策課	40
	16	県立森林公園アカマツ林再生	くらし・環境部	環境ふれあい課	42

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名		ページ
(4) 花と緑があるまちの 魅力の向上と発信	17	(欠番)			
	18	さくら愛護思想普及の推進	静岡県さくらの会	(環境ふれあい課)	44
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	(環境ふれあい課)	46
	20	ふじのくに花の都しずおか・ 花緑コンクール	経済産業部	農芸振興課	48
(5) 社会総がかりの 緑化活動への参加促進	21	しずおかアダプト・ロード・ プログラム	交通基盤部	道路保全課	50
	22	リバーフレンドシップ制度	交通基盤部	河川企画課	52
	23	ふじのくに美農里プロジェクト	経済産業部	農地整備課	54
	24	一社一村しずおか運動	経済産業部	農地保全課	56
	25	森づくり県民大作戦	くらし・環境部	環境ふれあい課	58
	26	しずおか未来の森サポーター	くらし・環境部	環境ふれあい課	60
	27	ふじのくに森の防潮堤づくり	経済産業部	森林保全課	62
	28	【追加】緑化グループ支援 事業	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	64
(6) 緑化活動の核となる 人材の育成	29	緑化コーディネーターの 育成・活用	静岡県グリーン バンク	(環境ふれあい課)	66

## 2 管理指標

# 1 主な取組

個票・令和2年度評価シート

# 緑化推進計画 事業個票

取組番号	1							
事業・取組名	緑化資材の提供							
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課					
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他
概要	<p>花の会、町内会、老人会等の地域の団体が緑化ボランティア活動として、身近に利用されている学校、公園、公民館等の公共施設の緑化活動を行うことに対して、緑化資材を無償配布し、街ぐるみの緑化を支援する。</p>							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>○ 定期配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町を通じて、年2回、緑化活動団体に草花の種子、球根、緑化木苗木等の緑化資材を提供する。</li> </ul> <p>○ 定期配布方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内産苗の活用など市町が推進する地域の個性を活かした緑化施策を支援するため、緑化資材配布のあり方を検討する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<p>○ 「地域の特色ある花壇づくり」を目指すには、後述する「緑化グループ支援事業」を充実させる方が効果が期待されるため、本取組については予算状況に応じて取組内容を検討する。</p>								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
定期配布事業	—————							
定期配布方法の検討	—————	↗ 配布方法を見直し						

評価シート



取組番号	1		
事業・取組名	緑化資材の提供		
令和2年度事業費	21,580 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 本事業は本店(バンク)、支店(市町)との人的ネットワーク構築による最も組織力を活かした緑化団体への運営支援として昭和52年1月発足以来の基幹事業であり、利用団体は2,600強と多く、35支店の緑化施策の一環として確立している。緑化資材は、実施箇所の近隣住民2名以上で構成される地域の団体に対し、支店(市町)を通じ、春・秋の2回配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布状況は以下のとおり。 ツツジ633本、サツキ599本、サクラ1,770本、その他3,063本 球根761,139球、種子268リットル 配布延べ団体数 4,495団体</li> <li>・ 例年グリーンバンク指定の種子・球根・緑化木等を配布するが、令和2年度は「地域の特色ある花壇づくり」に資するよう支店の要望に応える「支店裁量枠」として実施したところ、5支店から球根1,779球、種58ℓ、花苗60ポット、ツツジ30本の申請があった。申請理由の多くは「花壇のポリウム感、多彩な色彩感等を高めたい」であり、「地域の特色ある花壇づくり」までには至っていない。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 種子、球根の選定にあたり、例年の申し込み数量を考慮し、配布する種類が類似しないように、継続して配布するもの、しないものを選別した。</p> <p>○ 「配布した種子の発芽率が悪い」という意見があるが、意外と管理上の不備があるので「種まきと球根の植え方」に関する動画を作成し配信した。</p> <p>○ 特色のある花壇づくりの参考図書として「自分らしい花景色のつくりかた」を作成し、配布した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 補助金の減額により当事業費は見直しする予定である。そこで令和3年度の種子、球根の配布は現状を維持し、桜、つつじなどの緑化木については予算状況に応じて検討する。なお、支店裁量枠については実施しない。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 約2,600件の緑化ボランティア団体が行う公共的花壇の維持管理に必要な緑化資材の供給源として不可欠な事業に発展している。</p> <p>○ 荒廃した公園花壇や学校花壇の再生に繋がっている。</p> <p>○ 定期配布事業を通じて支店と地域緑化団体とのネットワークが構築され、地域とのコミュニティーの場となっている。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
静岡支店での配布の様子			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	2							
事業・取組名	花の都づくり							
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農芸振興課					
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	地域や企業等での花や緑の利活用の推進や若い世代への花への関心を高めることにより、花の都づくりを推進する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 花や緑の活用を推進する「花の都しずおかアドバイザー」を地域や学校等に派遣し、地域の緑化や花育を推進する。</li> <li>○ 花緑コンクールを開催し、地域や学校等による花のある安らぎのある空間を広める。</li> <li>○ 「お花自慢の職場宣言」事業所を募集し、その取組をホームページや冊子等で広報し、企業での花緑の利活用を促進する。</li> <li>○ 高校生等を対象とするフラワーデザインコンテストを開催し、若い世代の花への関心を高める。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魅力的な生活空間の創出にかかる取組として、「花の都しずおかアドバイザー」とその派遣事業並びに花緑コンクールは、現時点では継続予定。</li> <li>○ 「お花自慢の職場宣言」については、宣言事業所数が当初目標を達成したため総合計画の指標からは削除する予定。</li> <li>○ 高校生等を対象としたフラワーデザインコンテストについては、開催頻度を検討する。</li> </ul>								
			管理指標設定の有無					
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
「花の都しずおかアドバイザー」による花育推進				—————				
「お花自慢の職場宣言」事業所の拡大	—————							
フラワーデザインコンテストの開催	—————							





評価シート

取組番号	2		
事業・取組名	花の都づくり		
令和2年度事業費	5,370 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 地域、企業、市町等が実施する園芸教室や体験教室、講演会等に「ふじのくに花の都しずおかアドバイザー」を講師として派遣し、これに係る経費の一部を負担する「花緑出張サービス」を実施した。(令和2年度実績49件)</p> <p>○ 花や緑を活用している事業所を「お花自慢の職場宣言」事業所として募集し、その取組等をPRしている。(令和2年度宣言事業所数 328社・団体(累計))</p> <p>○ 高校生等の若い世代を対象に、花文化を担う人材育成を目的に「“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト2021」を開催した。(令和2年度応募実績 フラワーアレンジメント部門55人 ミニガーデン部門42人)</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 「お花自慢の職場宣言」事業所の募集については、コロナ禍の花活用(アレンジメント展示)とともに推進を図ったことで、宣言事業所数は231件増加した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 「花緑出張サービス」については、新しい生活様式に対応したりリモート講座を助成対象に拡大して実施する。</p> <p>○ 「お花自慢の職場宣言」事業所については、宣言事業所の花活用に関する取り組みをホームページ等で広報する。</p> <p>○ 「令和3年度“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト」については、県内多くの高校への周知を強化し、参加校数の増加を図る。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 花に親しむ機会の創出や花緑の活用推進等に取り組み、個人や学校、地域をはじめ事業所等に花の都しずおかの浸透が図られた。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>フラワーデザインコンテスト制作 (アレンジ部門)</p>		<p>フラワーデザインコンテスト制作 (ミニガーデン部門)</p>	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	3								
事業・取組名	花育活動(寄せ植え)								
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課						
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input checked="" type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働					
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他					
概要	子どもたちが、自分の手で土や苗を触る体験を通して、緑との関わりや優しい心を育む「花育教室」の開催を支援する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<input type="radio"/> 未就学児童対象の花育教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士を対象に、花育の技術、知識を学ぶ指導者養成研修会を実施する。</li> <li>・ 指導者養成研修を修了した保育士が指導者となって、保育園・幼稚園の園児に花育教室を実施する。</li> <li>・ 花育教室未実施の市町の保育園等を対象に、直接講師を派遣して花育教室を実施する。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<input type="radio"/> 本事業は、運営委員会の答申「人材育成支援」の一環として行う“幼少期の緑化意識の醸成”を目指す情操教育であり、近年、利用施設数、参加者数が最も伸びている事業であるため、今後も継続する。									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
未就学児童対象の花育教室									
小学校、中学校の活動実績情報収集									

評価シート

取組番号	3		
事業・取組名	花育活動(寄せ植え)		
令和2年度事業費	7,038 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 未就学児童を対象とした「花育教室(寄せ植え)」の実施を希望する幼稚園・保育園等を対象に指導者養成研修と同指導者による「花育教室」の2段階で実施した。本年度の指導者養成研修は、コロナウイルス感染予防に配慮し「指導者養成動画」を作成し、グリーンバンクのHPからオンラインで行った。オンライン効果は、遠方施設でも参加できたこと。また、1つの園で多数の視聴があり、多くの人材を育成できたことである。なお、本事業は、参加施設と参加者も増加傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者養成研修 花育教室を希望する保育園・幼稚園等の保育士・教諭194人を対象に、「花育教室の運営方法」に関する「指導者養成動画」を使用し、オンラインで行った。</li> <li>・ 花育教室 上記研修に参加した保育士等が講師となり、最終的に193施設、7,000人の園児が参加した。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 特に考慮した点は、コロナウイルス感染予防対策である。その一環として上記動画を作成し指導者養成研修を実施。また、各園での花育教室は、屋外で行うよう指導した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 保育園・幼稚園等を対象に「寄せ植え」を通じて花と緑の大切さの啓発を幼少期から取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生対象(指導者養成)(100人)、園児対象(東部、中部、西部)の100箇所(3,400人)支店管内の保育園、幼稚園で開催</li> </ul>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 花育教室を行うことで参加園から「子供たちがお花に興味を示すようになった」「卒園式の会場を自分たちが育てた寄せ植え(鉢花)で飾ることができて大変喜んだ」、また、ボランティアで参加した保護者から「自宅の花壇づくりに子供が参加する機会が増えた」という意見が寄せられている。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
清水町立北幼稚園		小松幼稚園	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	4							
事業・取組名	里山学習施設の管理運営及びプログラムの提供							
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		環境ふれあい課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	<p>「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等により、豊かな自然や生物多様性などを、安全に体験するための環境を整えるとともに、<u>豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供する。【追加】</u></p>							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の維持管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草刈り、歩道の補修、トイレ管理(毎年度)</li> <li>・ 枯れ木の除去、森林の整備、施設の修繕(状況に応じて)</li> </ul> </li> <li>○ 【追加】しずおか里山体験学習施設「遊木の森」 幼稚園・保育園、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供するとともに、プログラムの補助を行いながら森林環境教育の指導に必要な知識や技術を習得する指導者のOJT研修(人材育成)を実施する。</li> <li>○ 【追加】「榛原ふるさとの森」 幼稚園・保育園、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊木の森             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全確保のため、枯木や倒木などの危険木の除去及び、劣化した木造施設について、更新を行う。</li> <li>・ 定期的に除伐等を行い里山林の環境を維持していく。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、利用者に安心して訪れてもらい、かつ自然からの学びを享受することができる環境をめざす。</li> </ul> </li> <li>○ 榛原ふるさとの森             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全確保のため、劣化した木造施設について更新を行う。</li> <li>・ 施設の特徴を生かし、利用者ニーズを反映させた施設整備を行う。</li> </ul> </li> <li>○ 学校教育の枠組みを理解した小学生向けプログラムの開発などにより、ライフスタイルに応じた森林環境教育の機会を提供していく。</li> </ul>								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
里山学習施設の管理運営								
自然体験プログラムの提供								



評価シート

取組番号	4		
事業・取組名	里山学習施設の管理運営及びプログラムの提供		
令和2年度事業費	151,711千円 自然ふれあい施設管理運営費のうち一部	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険木の伐採、草刈り、遊歩道整備のほか、鋭いトゲを持つ外来植物(ワルナスビ)が増えていることから、駆除活動を引き続き実施。</li> <li>令和元年度に「しずおか未来の森サポーター」協定を締結した企業から資金提供を受け、大きくなりすぎた広葉樹の伐採、更新を実施。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、手洗い場の整備に向けた検討に着手。</li> </ul> <p>○ 榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険木の伐採、草刈り、遊歩道整備のほか、谷津田の天地返しなどを実施。</li> <li>老朽化した木製のトイレ目隠しや土留等を撤去し、鋼材やコンクリートに更新した。</li> <li>里地・里山の生物多様性の保全に焦点をあて、その魅力を引き出し、保全活動の活性化を図る研修会を榛原ふるさとの森で開催。研修会の内容や先進事例をまとめたガイドブックを作成。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 利用者の安全確保と施設の機能維持。</p> <p>○ 企業や森づくり団体等の多様な主体が実施する新たな活動の促進。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3密を避け、誰もが気軽に自然とふれあえる施設としての魅力を発信するとともに、企業の協力やアイデアを得ながら、ハード、ソフトの整備に取り組んでいく。また、感染症対策として、手洗い場の設置を進める。</li> </ul> <p>○ 榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の安全確保のため、施設の更新を進める。また、近隣市町に対し、森林環境教育の場としての活用を呼び掛けていく。</li> </ul>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境教育の拠点として、幼児期から学齢期に至る様々なプログラムが提供されている。</li> <li>森林環境教育のボランティアの育成研修を修了した多くのボランティアに支えられている。</li> <li>里山林の生物多様性の保全につながる森づくり活動や、里山での暮らしを体験できるプログラムが実施されている。</li> </ul> <p>○ 榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のボランティア団体により、幼児期、学齢期へのプログラムが提供されている。</li> <li>中心部はサンクチュアリゾーンとして立入を認めていないため、活用エリアは水辺や広場に限定されている。</li> </ul>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>研修会の様子 山田辰美名誉教授による水辺の生き物の解説</p>		<p>木製土留を石積みに更新</p>	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	5								
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供								
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		～R2 環境政策課 R3～ 環境ふれあい課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発		<input type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他		
概要	<p>県営の「里山体験学習施設 遊木の森」や「榛原ふるさとの森」において、豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供する。</p>								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ しずおか里山体験学習施設「遊木の森」 森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供するとともに、プログラムの補助を行いながら森林環境教育の指導に必要な知識や技術を習得する指導者のOJT研修(人材育成)を実施する。</p> <p>○ 「榛原ふるさとの森」 身近な自然環境を活用した環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供する。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">取組番号4と統合</div>									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
森林環境教育プログラムの提供	—————			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">取組番号4と統合</div>					

評価シート





取組番号	5		
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供		
令和2年度事業費	3,264 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ しずおか里山体験学習施設「遊木の森」 森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、幼稚園や保育園、学校等の18団体、1,460人に対して、森林環境教育プログラムを実施し、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会の提供を行った。</p> <p>○ 「榛原ふるさとの森」 身近な自然環境を活用し環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、幼稚園や保育園、学校等の18団体、1,051人を対象に、森林環境教育プログラムを実施した。プログラムを通じて、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会を提供した。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、検温の実施、道具の共有を避け消毒を行う他、家族や小グループ単位での活動を行った。</p> <p>○ 幅広い団体が森林環境教育を受けられるよう、様々な団体(幼稚園・保育園・小学校等)に呼びかけを行った。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 予算の削減に伴い、森林環境教育プログラムの実施回数は前年比50%程度となる見込み。</p> <p>○ 遊木の森では、新たに利用者に向けて、生物多様性の視点を取り入れた森林環境教育プログラムを行い、里地・里山の生物多様性の保全について、理解と普及を図る。</p> <p>○ 榛原ふるさとの森では、引き続き、市町の教育部署等への利用の働きかけを行う。</p> <p>○ 教育者、森林環境教育実践者、林業者、関係団体等による「森林ESD開発チーム」(主催(公財)静岡県グリーンバンク)において、学校教育の枠組みを理解し、教科や単元とも合わせた「小学生向け体験プログラム」案を作成、試行する。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 緑化推進計画に基づき、「遊木の森」「榛原ふるさとの森」において学習機会の提供を行った。平成30年度33回、令和元年度35回、令和2年度36回と着実に森林環境教育プログラムの提供を行っている。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
遊木の森でのプログラム		榛原ふるさとの森でのプログラム	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	6								
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ								
部局名/団体名	経済産業部			担当課		農地保全課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	<p>農業者の高齢化と後継者不足から棚田・里地の保全管理が困難になっている地域にボランティアやアドバイザーを派遣し、棚田・里地の維持・管理を目的とした保全活動、活性化及び組織の支援を行う。</p>								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 草刈り・復田・田植え等の保全活動を支援するため、くらぶのニュースレターやFacebook等で広く活動ボランティアを募り、県民に棚田・里地での活動に参加してもらおう。</li> <li>○ 専門的な知識を有するアドバイザーを保全団体に派遣し、活動支援を行う。</li> <li>○ 棚田や里地の有する多面的機能の維持向上及び保全の必要性をPRするため、広報誌「里風通信」を発行する。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
○ 関係人口の一層の増加を目指し、広報・啓発活動を引き続き行う。									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
棚田・里地で活動するボランティアの募集									
活動団体・地域へのアドバイザー派遣									
広報誌「里風通信」の発行				年2回発行					



評価シート

取組番号	6		
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ		
令和2年度事業費	929 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトの開設やFacebook、ニュースレター等を通じて、広く活動ボランティアを募り、棚田保全活動参加者の増加を図った。(R2:982人参加)</p> <p>○農水省が主体となり、棚田の魅力を伝え、棚田への訪問を促す広報ツールとして「棚田カード」を作成・配布する全国棚田カード作成事業に参加し、棚田カードを棚田保全活動等のイベント時に配布することにより、参加者の増加を図った。 石部(松崎町)・千榎(菊川市)・北山(沼津市)・俵沢(静岡市葵区)・清沢(静岡市葵区)・奥長島(静岡市葵区)・大栗安(浜松市天竜区)・久留女木(浜松市北区)・白檀(浜松市北区)・白糸(富士宮市)・柚野(富士宮市)</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトの作成は、既存の県ホームページ内のサイトから外部サーバーに移行することで、より多くの情報が速やかに更新できることとなり、各地域の活動状況がより詳細に把握できるようになったため、活動組織からも「他地域の活動内容がわかるため、参考になる」等の意見も聞かれ、意欲向上にもつながっている。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○棚田カードを棚田保全活動参加者等に配布し、関係人口の増加を図っていく。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○コロナ禍の影響を受けているが、関係人口を保持</p>			
参考(写真・図表等)			
			
			
			<div data-bbox="1002 1848 1385 1944">棚田カード全11種類</div>

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	7								
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針								
部局名/団体名	交通基盤部			担当課		景観まちづくり課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大								
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	公共施設の整備に際して、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき、景観に配慮した美しい緑化のデザインに努める。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ 地域景観を大きく印象付ける社会インフラの整備において、県の公共事業における景観形成の指針である「ふじのくに色彩・デザイン指針」に基づいた樹木の保全や花木の活用等を推進することにより、地域緑化の先導的役割を担う。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<p>○ 引き続き「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や景観の専門家による景観検討の研修会を開催し、県職員の景観形成に対する意識を啓発するとともに運用の徹底を図り、高質な公共空間を形成していく。</p>									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
ふじのくに色彩・デザイン指針の活用									


評価シート

取組番号	7		
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針		
令和2年度事業費	— 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
○ 様々な機会を捉え、行政職員及び建設業者等に向けて「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や研修会を行った。(WEB研修会(全3回、参加者約100名))			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○ 「ふじのくに色彩・デザイン指針」のさらなる普及啓発と運用の徹底。コロナ禍のため、ウェビナー等を活用した			
令和3年度の予定			
○ 引き続き「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や景観の専門家による景観検討の研修会を開催し、県職員の景観形成に対する意識を啓発するとともに運用の徹底を図り、高質な公共空間を形成していく。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 「ふじのくに色彩・デザイン指針」の普及啓発と運用の徹底がなされた。指針を参考として、国、県、市が連携してデザインの統一を図り計画された道の駅「伊豆月ヶ瀬」について、周辺の自然環境と融合した建築・外構デザイン等が評価され、令和2年度静岡県景観賞優秀賞を受賞した。			
参考(写真・図表等)			
			
護岸の緑化		法面の緑化	
ふじのくに色彩・デザイン指針より、緑化関連箇所の抜粋			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	8							
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生							
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		住まいづくり課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	生活と自然が調和した住まいづくり・まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図る。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「豊かな暮らし空間」を実現した住宅地の普及・啓発を図るため、住民が共同で利用できる公園や庭の緑化など一定要件を満たした住宅地の計画を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定し、冊子・ホームページへの掲載や見学会の開催等により県民や住宅関係事業者等に広く情報を発信する。</li> <li>○ 「豊かな暮らし空間」の実現に向け、住宅関係事業者等に対してアドバイザーを派遣するほか、内陸フロンティア推進区域内における「豊かな暮らし空間創生住宅地」の整備に対して重点的に支援する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度以降も、住宅地の宅地造成計画等に関するアドバイザーの派遣や許認可等の手続きに関する市との事前調整などにより、事業者を支援することで、「豊かな暮らし空間創生住宅地」の増加を図る。</li> <li>○ 特に、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、都心から地方への移住者の増加や2地域居住などの新たな働き方・住まい方が見直されていることから、都心からのアクセスの利便性等立地条件が良い当県における優位性を活かし、静岡らしい自然豊かでゆとりある職住一体の住まいを事業者に提案するなど、認定住宅地の普及・拡大を図っていく。</li> </ul>								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
豊かな暮らし空間創生住宅地の認定								
アドバイザー派遣								
内陸フロンティア推進区域内における住宅地整備に対する支援								



評価シート

取組番号	8		
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生		
令和2年度事業費	— 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○「豊かな暮らし空間創生住宅地」として過去に認定した「あこう田園」(三島市大場)にて5区画追加認定し、分譲を行った。</p> <p>○「豊かな暮らし空間創生住宅地」の普及・啓発のため、アドバイザーを招き、平成30年度に認定した「三島塚原優良田園住宅 桜郷里」(三島市塚原新田)の見学会等を実施した。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 事業者等が「豊かな暮らし空間創生住宅地」を具体的にイメージできるよう、既認定地の見学会を行った。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 令和2年度に引き続き、事業者に対する「豊かな暮らし空間創生住宅地」の普及・啓発のため、見学会等を開催する。</p> <p>○ 企業訪問等を行い、認定制度の周知とともに新たな住宅地の掘り起こしを図る。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 令和2年度において、民間開発の計画が遅れている影響で、実績値が目標値を下回ってしまったものの、研修会の開催やイベントへの出展が既認定地の拡張(5区画増加)につながり、事業は着実に進んでいる。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>「三島塚原優良田園住宅 桜郷里」見学会</p>			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	8-2							
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備							
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		住まいづくり課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input type="checkbox"/> 普及啓発		<input type="checkbox"/> 連携・協働	
	<input type="checkbox"/> 緑化維持		<input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援		<input type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他	
概要	既成の住宅地における道路に面する部分において、植栽を基調とした緑のいえなみを推進し、安全で美しいいえなみへ誘導する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
○ 道路に面する生垣・フェンス等の整備に補助する市町に対し助成する。								
○ 「美しいいえなみ事例集」を県、市町の窓口をはじめ住宅展示場等で配布するほか、県のHPIにも事例集のデータを公表し、県民の「安全で美しいいえなみ」への意識醸成を図るとともに、樹種の選定や緑化計画の参考になるよう、広く情報発信をする。								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ 補助制度を整備していない市町に対して、制度創設を働きかけるとともに、引き続き、事例集等を用いた意識醸成、情報発信に努める。								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
安全で美しいいえなみ整備事業								

評価シート

取組番号	8-2		
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備		
令和2年度事業費	17,197 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 助成実績は以下のとおり。なお、これまでは「ブロック塀の撤去のみ」等、緑化をしていないものも助成対象としていたが、令和2年度実績から緑化を伴うもののみ対象とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック塀の撤去を伴う改善2件、ブロック塀の撤去を伴わない改善1件</li> </ul> <p>○ 作成した「美しいいえなみ事例集」を県内市町及び造園緑化協会等に配布した。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 造園緑化協会やエクステリア協会等の事業者事例集を配布することで、「美しいいえなみ」の周知普及を図った。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 助成制度未整備の市町に対して継続して制度創設を働きかける。</p> <p>○ 関連するイベント等で「美しいいえなみ」のPRを行う。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 毎年度助成制度の活用実績があり、少しずつではあるが、「美しいいえなみ」の実現へとつなげている。</p>			
参考(写真・図表等)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <span style="font-size: 2em;">➔</span>  </div> <p style="text-align: center;">美しいいえなみ整備のイメージ</p>			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	8-3							
事業・取組名	みどりの住環境整備事業							
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		住まいづくり課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	働き方や住まい方の多様化に伴う首都圏等からの人の流れを創出し、緑豊かな住環境を整備するため、県外からの移住者等が行う、空き家を含む既存住宅の庭の緑化整備を支援する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに県外から移住した者又は移住する予定の者に対して、住宅敷地内における30㎡以上かつ300千円以上の緑化整備を補助する。</li> <li>○ 敷地面積165㎡以上で耐震性のある既存戸建住宅が対象。</li> <li>○ 対象工事は樹木、生垣、芝生等の緑化に係る工事及び家庭菜園に係る工事等。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ 令和4年度以降の継続を含め、令和3年度中に事業の在り方について検討をする。								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
みどりの住環境整備事業				—————				





評価シート

取組番号	8 - 3		
事業・取組名	みどりの住環境整備事業		
令和2年度事業費	— 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>令和3年度新規の取組のため、令和2年度実績無し</p> </div>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
令和3年度の予定			
○ 新たに「みどりの住環境整備補助制度」を創設し、県外からの移住者のための緑化助成を行う。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
参考(写真・図表等)			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	9							
事業・取組名	芝生地の普及支援、管理支援							
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課			環境ふれあい課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働		<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他					
概要	園庭・校庭や運動公園への芝生の導入を推進するとともに、既存の芝生地の維持の支援を行う。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民参加による園庭等芝生緑化支援 幼稚園・保育園などの園庭、学校の校庭、地域の公園、スポーツ広場などの芝生化を住民参加で実施するための資材や管理備品の購入経費を支援する。</li> <li>○ 芝生管理活動支援 地域の団体が行う公園、緑地などの芝生地を維持管理するための経費を支援する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「園庭等芝生化モデル事業」を通じて園庭と校庭及び公園や広場の芝生化の更なる普及を目指す。また、芝生地の健全な育成管理を行うために、住民参加による維持管理活動を支援する。</li> <li>○ 「園庭等芝生化モデル事業」は、施設補助であるが「景観づくり」に加え「園児等の発育増進・情操教育」「温暖化対策」「砂塵対策」など、多様な効果を期待できるので継続していく。</li> </ul>								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
住民参加による園庭等芝生緑化支援								
芝生管理活動支援								



評価シート

取組番号	9		
事業・取組名	芝生の普及支援、管理支援		
令和2年度事業費	14,923 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園庭等芝生化モデル事業(9,143千円) 助成施設: 保育園5、福祉施設1 計6件 芝生化面積: 1,986㎡</li> <li>○ 芝生地維持管理活動支援事業(5,780千円) 助成団体: 幼稚園等15、広場13、学校2、福祉施設1 計31件 助成先芝生地面積: 25,129㎡</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園庭等芝生化モデル事業 新たに芝生化を目指す施設の掘り起こしを図るために、令和元年度花育教室に参加した幼稚園等へDM(募集案内)を送付した。(実施保育園5件はDM効果)</li> <li>○ 芝生地維持管理活動支援事業 補助対象団体に「芝生教室等」への参加を呼びかけた。(3～5割は同事業利用者)</li> <li>○ 芝刈り機研磨動画の作成 芝刈機の刃先研磨に関する質問に対応し、研磨方法の動画を作成した。</li> </ul>			
令和3年度の予定			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園庭等芝生化モデル事業 DM発送の際、令和2年度作成の「芝生化チャレンジ動画」の視聴を促す。</li> <li>○ 芝生地維持管理活動支援事業 募集案内に「芝刈り機研磨作業教材動画」の視聴を促す文書を追加し周知を図る。</li> </ul>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園庭等芝生化モデル事業 「園児等が、屋外(芝生地)で遊ぶ機会が増えた」「屋外で転倒した際の怪我が減った」「芝生化により砂塵対策効果が表れ、近隣の苦情が減った」という意見がある。</li> <li>○ 芝生地維持管理活動支援事業 申請団体が管理する芝生地は、ほとんど健全な芝生の生育を保っている。また、管理地は、地域住民がグラウンドゴルフを行うなど、地域住民の交流の場となっている。</li> </ul>			
参考(写真・図表等)			
			
恵明キッズコスモスビレッジ		曙こども園	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	10							
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用							
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課			環境ふれあい課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	芝生の知識を持った専門家を育成するとともに、芝生の専門家を各地域に派遣し、設置した芝生の適切な維持管理を支援する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>○芝草管理講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生の育成・管理に関して専門的な指導ができる人材を育成する芝生管理講座を開催する。</li> </ul> <p>○人材バンクの設置・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生アドバイザーの要件を定め、人材バンクを設置する。</li> <li>・芝草管理講座の修了生や造園業などの専門家を、芝生アドバイザーとして認定し、人材バンクに登録する。</li> </ul> <p>○芝生アドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での芝生の育成・管理に関して、芝生アドバイザーなどの専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ スポーツの振興、良好な景観形成、自然教育の場の創出などを進める「芝生文化創造プロジェクト」により、引き続き芝生緑化を進めるためのアドバイザー育成・活用を継続する。								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
芝草管理講座の開催	_____							
人材バンクの設置・活用	設置	登録・活用			_____			
専門家の派遣を支援	_____							

評価シート

取組番号	10		
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用		
令和2年度事業費	5,968 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 芝生教室開催(1日コース)・・・グリーンバンク (1,589千円) 参加者: 東部15人、中部4人、西部11人 計30人 講師: NPO法人グラウンドキーパーズ 理事長 佐野 忍 氏 研修内容: 芝生化及び維持管理手法と管理機具に関する基礎知識を学ぶ</li> <li>○ 芝草管理講座(3日コース・芝生アドバイザー育成)・・・芝草研究所 参加者: 18人(修了者15人) 講師: 静岡県芝草研究所 研究主幹 池村 嘉晃 氏 研修内容: 芝生化及び維持管理に必要な専門的な知識を学ぶ</li> <li>○ 芝生アドバイザー活用(2,772千円) 芝生化実施施設や芝生地管理団体の要請に基づき、芝生化指導及び維持管理に関する現場指導や管理機具のメンテナンス指導(特に研磨)を行った。 アドバイザー: NPO法人グラウンドキーパーズ 指導先: 芝生化指導6件・巡回80回(2,772千円) 現場指導1件・巡回5回(427千円) メンテナンス指導12件・巡回24回(1,180千円)</li> <li>○ 人材バンクの登録 グリーンバンク事業等を通じて制度の趣旨に沿う人材があれば随時登録した。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○ 芝生教室の補完として芝刈機のメンテナンス(研磨)に関する巡回指導を行ったが、研磨作業は、口頭説明だけでは理解しにくい。そこで研磨作業を実技指導する教材動画を作成した。			
令和3年度の予定			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ感染予防対策に配慮した研修運営に配慮する。</li> <li>○ 研磨作業教材動画は、研修会等で放映すると共にグリーンバンクのHPへの掲載を周知し活用を促す。</li> </ul>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 芝生教室や芝草管理講座の効果等 芝生化実施施設は、芝生教室等に参加している。そこで、例年芝生化後2・3・5年目の施設を専門家の協力を得て育成巡回調査を行うが、そのほとんどの施設は「良好」の評価を得ているので、研修の効果が見られる。</li> <li>○ 派遣箇所の年度ごとの評価 令和元年度・梅花幼稚園の芝生地の再生を目指し専門家を派遣し復活した。 令和2年度・見晴学園の芝生管理集中指導(4回)を実施し、管理手法について現場で実践的に行った。その甲斐があり生育状況に問題なし。</li> <li>○ 管理指標である「緑化コーディネーター、芝生アドバイザー派遣箇所数」は短期目標値65箇所に対し、令和2年度実績は71箇所となり、目標を達成している。 なお、登録者は少ないが、今後、芝生関連事業を通じて「専門的知識や適格な指導ノウハウ」を持った人材を発掘し、随時登録する。</li> </ul>			
参考(写真・図表等)			
			
芝生教室(東部会場)			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	11								
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発								
部局名/団体名	芝草研究所			担当課		環境ふれあい課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
概要	<p>身近で使いやすい芝生地拡大のため、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立する。</p>								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ 芝種の選定と管理手法の確立          身近で使いやすい芝生の普及のため以下の課題の研究を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツでの使用に耐える耐踏圧性の高い芝種の選定</li> <li>・ 日陰になる時間が多くても育成し管理の手間やコストが低い芝種の管理手法</li> <li>・ 常緑だが夏季の管理が難しい寒地型芝草の夏季に強い品種の選定</li> <li>・ ノシバ・コウライシバをベースとする芝生の常緑化のためのウィンターオーバーシード(WOS)方法 等</li> </ul> <p>○ 外部評価の実施          研究の成果がより高いものとなり、成果を迅速かつ効果的に社会還元するため、外部評価委員会において研究内容の評価を行う。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<p>○ これまでの研究成果である「バミュダグラスによる園庭・校庭の芝生化マニュアル」、「セントオーガスティングラスによる芝生化マニュアル(仮)」等を活用しながら、“目指す姿”に向けて更なる芝生の普及と、持続可能な芝生管理に不可欠な人材育成に取り組む。</p> <p>”目指す姿”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生化した場所が地域ごとの芝生人材を中心に適切に維持管理され続ける(自立)。</li> <li>・ 暮らしの様々な場面で芝生を利用する機会が増えることにより、県民の心身の健康や地球温暖化防止に寄与。</li> </ul>									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
芝種の選定と管理手法の確立									
芝生の普及と人材育成									
外部評価の実施				外部評価を受け、適宜研究内容を見直し					

評価シート


取組番号	11		
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発		
令和2年度事業費	6,265 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 身近で使いやすい芝生の普及のため、用途に応じた芝種の選定と管理手法の研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日陰になる時間が多くても成育する芝種(セントオーガスティングラス)の管理手法の調査のため、県立森林公園(浜松市浜北区)、吉田特別支援学校などを場外ほ場として活用し植栽方法による広がり方の差や雑草との競合性などの研究を行った。</li> <li>・ メリケントキンソウ防除のため、薬剤と散布適期に関する除草剤試験を行った。</li> <li>・ 農林環境専門職大学のグラウンドを芝生化した。</li> </ul> <p>○ 外部評価委員会を実施した。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 芝草研究の成果として、令和3年度末までに、日陰でも生育する芝生の管理マニュアルを作成することを念頭に、研究内容の検討を行った。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ セントオーガスティングラスの管理マニュアル作成及び研究成果の蓄積をしていく。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 平成24年10月に芝草研究所を設置し、第1クール(H24~28)は常緑性・耐踏圧性が高く低コストで管理しやすい芝生の研究に、第2クール(H29~R3)は芝生の利用範囲を広げるための研究に取り組んできた。今後は研究成果の活用を進める。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
農林環境専門職大学グラウンド		農林技術研究所ロータリーでの状況 (木陰でも生育)	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	12								
事業・取組名	工場緑化セミナー								
部局名/団体名	経済産業部			担当課		企業立地推進課			
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造								
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	工場緑化に係る本県理念の浸透を図るため、緑化セミナーを開催する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業振興と自然環境の調和の実現を図るため、地域の実情に合わせた緑地面積率等の見直しを行う県条例を平成27年10月に施行した。条例に盛り込まれた工場緑化に係る本県理念の浸透を図り、県全体で質の高い工場緑化を実現するため、市町と協働で、緑化セミナーを開催する。</li> <li>○ 工場立地法の改正により、緑地面積率等の見直しを行う条例の制定権限が全市町村に移譲されたため、今後、市町が地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、助言していく。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町と協働で緑化セミナーを開催し、工場緑化の先進事例を視察することで、工場緑化に係る本県理念の浸透を図る。</li> <li>○ 県全体で質の高い工場緑化を実現するため、地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、市町に助言する。</li> <li>○ 意欲的に工場緑化に取り組んでいる工場に対し、緑化優良工場等表彰への推薦を行う。</li> </ul>									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
緑化セミナーの開催									
市町への助言									
緑化優良工場等表彰への推薦									



評価シート

取組番号	12		
事業・取組名	工場緑化セミナー		
令和2年度事業費	—	千円	管理指標の有無 有
令和2年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例年、工場緑化セミナーは、「ふじのくに産業見学会」の一部として開催し、緑化優良工場等表彰の受賞工場の中で、先進的な取り組みを行っている工場を視察している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となった。</li> <li>○ 県全体で質の高い工場緑化を実現するため、地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、市町に助言した。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工場緑化セミナーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となった。</li> <li>○ 緑地面積率等の見直しを行う条例の制定権限が全市町村に移譲されたことにより、規制緩和の傾向になりつつあるが、工場立地法の制定経緯等を踏まえた運用を行うよう助言した。</li> </ul>			
令和3年度の予定			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工場緑化セミナーを開催し、本県の工場緑化の先進事例を紹介することで、工場緑化に係る本県理念の浸透を図る。</li> <li>○ 県全体で質の高い工場緑化を実現するため、地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、市町に助言する。</li> </ul>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工場緑化に係る本県理念の浸透を図るため、企業・市町を対象に工場緑化セミナーを開催した。緑化優良工場等表彰の受賞工場における先進事例の紹介を行うことで、企業・市町における工場緑化への意識の変化等に繋がった。</li> <li>○ 緑地面積率等の規制緩和が進む中、工場立地法の制定経緯等を踏まえた運用を行うよう助言することで、緑化優良工場等表彰へ推薦できる工場の確保へと繋がった。</li> </ul>			
参考(写真・図表等)			
		<p>工場緑化セミナーの様子</p>	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	13							
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持							
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	公園緑地課					
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造							
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	<p>県営都市公園内の多目的競技場等運動施設における芝生の維持管理を指定管理者が定期的に行うことにより、常に芝生を良好な状態に保ち、運動施設の快適な利用を促進し芝生自体の長寿命化を図っている。</p>							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>○ 公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮し、芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布などを実施し、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つ。</p> <p>【参考】H29年度 年間計画          (愛鷹広域公園年間計画)          芝刈 20回/年、灌水 30回/年、施肥 10回/年、抜取除草 15回/年、          薬剤散布 10回/年 など          (草薙総合運動場年間計画)          芝刈 45回/年、散水 30回/年、施肥 5回/年、抜取除草 15回/年、          薬剤散布 10回/年 など          (小笠山総合運動公園年間計画)          芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、          薬剤散布 25回/年 など</p>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<p>○ 公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮した維持管理(芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布など)を継続して実施することで、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つことで、利用者が快適に利用できる施設を目指す。</p>								
			管理指標設定の有無 <input type="checkbox"/> 無					
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
芝生の維持 管理・張替え								


評価シート

取組番号	13		
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持		
令和2年度事業費	- 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>(愛鷹広域公園年間実績)          芝刈 284回/年、散水 75回/年、施肥 20回/年、抜取除草 30回/年、          薬剤散布 20回/年 など</p> <p>(草薙総合運動場年間実績)          芝刈 96回/年、散水 100回/年、施肥 26回/年、抜取除草 50回/年、          薬剤散布 11回/年 など</p> <p>(小笠山総合運動公園年間実績)          芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、          薬剤散布 10回/年 など</p> <p>いずれも芝生の状態に応じて、概ね当初計画どおりの実施がされている。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 冬芝から夏芝への切り替え作業で芝生への物理的なダメージや肥培管理、日照不足など考慮しながら作業を実施。(愛鷹広域公園)</p> <p>○ 芝生の更新作業にあたり、芝生の生育促進、リノベーション作業(エアレーション工(コアリング・ムク・ナイフ)、バーチカルカット工、芝刈(低刈)、目砂散布工)を今までの1.5倍増で実施。 (小笠山総合運動公園)</p>			
令和3年度の予定			
○ 引き続き、年間計画を目安に気候や芝の状態に応じた維持管理を実施することで、良好な状態を保ち、利用者が快適に利用できる施設を目指す。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ いずれの公園においても、芝の状況に応じて維持管理を実施することができた。			
参考(写真・図表等)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
芝生の維持管理作業			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	14							
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援							
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課 環境ふれあい課						
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上							
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	<p>多くの人々が行き交う駅前や観光地などに、地域らしさが光る「花と緑のおもてなし空間」を創造するため、おもてなし空間を整備する市町等に対して支援を行う。</p>							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>○ おもてなし空間整備に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、おもてなし空間整備事業を実施する市町等に対し、助成を行う。</li> <li>・ おもてなし空間の整備にあたっては、周囲の景観への配慮、花種の検討、維持管理の検討のため、専門家によるアドバイスを受けるものとする。</li> </ul> <p>○ おもてなし空間を維持する団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おもてなし空間を整備・維持する団体が専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。</li> <li>・ おもてなし空間の維持のため、グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用して継続的な支援を行う。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<p>○ 花と緑のおもてなし空間を整備する事業を終了し、その資金は、公共的花壇の維持管理活動や特色のある花壇づくりを目指す「緑化ボランティア団体」への支援や幼少期の緑化意識の醸成を目指す花育教室(寄せ植え)などの実施施設への支援に活用したい。</p>								
		管理指標設定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有						
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
おもてなし空間整備に対する助成	—————							
おもてなし空間を維持する団体への支援								
専門家の派遣を支援	—————				-----	-----	-----	-----
緑化団体等への支援	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
	グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用							







評価シート

取組番号	14		
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援		
令和2年度事業費	2,015 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 地域のシンボルとなる花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、新規整備及び維持管理を実施する市町等に対し、助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規箇所: 伊豆の国市(花壇、自動灌水等の設置 1箇所)</li> <li>・ 継続箇所: 三島市、富士市、伊豆市、小山町(花壇等の維持管理 4箇所)</li> <li>・ 地域のシンボルとなるおもてなし空間の整備を図る実施主体を支援するため、空間整備計画立案に必要な専門家(アドバイザー)を伊豆の国市、小山町に派遣した。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとなるよう、県東部地域を中心に働きかけを行った。</p> <p>○ 実施主体に対し、周囲の景観に考慮したうえで、地域のシンボルとなるようにアドバイスを行った。</p>			
令和3年度の予定			
○ 新規1件(下田市)、継続4件(富士市、三島市、伊豆市、小山町)に対し、支援予定			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 本事業は、オリンピック開催に向けて駅前等の周辺整備を目的とし令和3年度で最終となる。短い期間であったが、行政と地域ボランティア等が一丸となって事業を実施した富士市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、小山町等の駅前周辺や会場周辺に「おもてなし」の心を表現する花と緑による空間が整備された。</p> <p>○ 来場者の癒しの空間となっている。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
伊豆の国市に整備したおもてなし空間			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	15								
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)								
部局名/団体名	経営管理部			担当課		資産経営課			
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上								
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input type="checkbox"/> 普及啓発		<input type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input checked="" type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立の農業高等学校や農林環境専門職大学の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。</li> <li>・本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。</li> </ul>								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ 経営管理部資産経営課(本庁舎所管所属)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来庁者等に対して「親しみやすい県庁」とするため、県庁本館(正面側)の窓辺に県立の農業高等学校や農林環境専門職大学の生徒が授業で栽培した花プランターを設置する。</li> <li>・県下農業高校(11校)と農林環境専門職大学が栽培した花プランターを年5回に分けて設置する。</li> <li>・東館2階ロビーの設置場所及び本館正面案内板にて栽培学校や花種類を発信する。</li> <li>・ホームページ等で窓辺の花事業(学校栽培)の情報を発信する。 (資産経営課:県ホームページ、教委:フェイスブック)</li> </ul> <p>○ 来庁者への「おもてなし」として、東館2階ロビーや本館2階正面入口に植物(観葉・花)を設置する。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
現状の継続。									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
県庁本館窓辺の花設置事業									
本庁舎環境美化事業									

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)		
令和2年度事業費	1,410 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 県民に親しみやすい県庁とするため、また、県民の環境美化・緑化運動の啓発を図るため、県庁に草花を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立の農業高校(11校)及び農林大学校に栽培を依頼し、本館正面窓辺等に草花を設置した。 【本館2～4階の窓(80窓)等に順次設置(1回あたり164鉢)】</li> <li>・ 県内福祉施設(8施設)が栽培した花を本館玄関前に設置した。 【各福祉施設から購入した30鉢を順次設置】</li> </ul> <p>○ 庁内における寄せ植え花の設置等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内の環境美化及び来庁者の「おもてなし」のため、高校や専門学校の協力も得ながら、本館2階案内所横や東館2階ロビーに寄せ植え花を設置するなどした。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。</p> <p>○ 本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 来庁者等に対して「親しみやすい県庁」とするため、県庁本館(正面側)の窓辺に県立の農業高等学校や農林環境専門職大学の生徒が授業で栽培した花プランターを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県下農業高校(11校)と農林環境専門職大学が栽培した花プランターを年5回に分けて設置する。</li> <li>・ 東館2階ロビーの設置場所及び本館正面案内板にて栽培学校や花種類を発信する。</li> <li>・ ホームページ等で窓辺の花事業(学校栽培)の情報を発信する。 (資産経営課:県ホームページ、教委:フェイスブック)</li> </ul> <p>○ 来庁者への「おもてなし」として、東館2階ロビーや本館2階正面入口に植物(観葉・花)を設置する。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 県内各農業高校、農林大学校、専門学校及び福祉施設の協力を得て、庁内の環境美化を行っている。</p> <p>○ 各所、季節に沿った花、デザインで作成しており、来庁者が風情を感じる、親しみやすい「おもてなし空間」を演出できている。</p>			
参考(写真・図表等)			
		本館	
		本館 玄関	
		東館2階 ロビー	本館2階

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	15							
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)							
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	文化政策課					
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上							
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働				
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他				
概要	県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園における草木、緑地等の維持管理							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
○ 県立美術館等の施設において、県の文化施設として訪れる方々に快適な空間を提供するよう、草木等の適切な維持管理を行っている。								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ 今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
施設内草木等の維持管理								



評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)		
令和2年度事業費	34,541	千円	管理指標の有無 無
令和2年度の実績			
<p>○ 施設を訪れる方々に快適な空間を提供できるよう、各施設において樹木の剪定、芝生の管理、草刈り等を計画的に実施した。</p> <p>○ 枯れ木や強風による倒木の除去等も適切に行った。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 良好な緑化環境を維持するため、年間計画に基づき適切な植栽管理等を行った。</p> <p>○ 老木が多い施設では、倒木や枯れ枝の処理に留意した。</p>			
令和3年度の予定			
○ 今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 適切な植栽管理等を行った結果、良好な緑化環境を維持することができた。			
参考(写真・図表等)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>県立美術館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地球環境史ミュージアム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>グランシップ</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>舞台芸術公園</p> </div>			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	15								
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)								
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	観光政策課						
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上								
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造								
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働					
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他					
概要	日本平夢テラス(前庭)の整備								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
○ 日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる、庭園のような空間として日本平夢テラス前庭を整備した。									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
○ 今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
施設内草木等の維持管理	—————								
日本平夢テラス(前庭)の整備	工事								

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)		
令和2年度事業費	4,372 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
○ 日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる庭園のような空間として整備した日本平夢テラス前庭について、来訪者に快適な空間を提供できるよう、樹木草花の適切な維持管理を行った。			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○ 来訪者に快適な空間を提供できるよう、樹木草花の適切な維持管理に努めた。			
令和3年度の予定			
○ 今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 適切な維持管理を行った結果、良好な緑化環境を維持することができた。			
参考(写真・図表等)			
			
日本平夢テラス前庭			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	16							
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生							
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課					
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上							
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	<p>県立森林公園のアカマツ林は、県内でも希少な、まとまった面積の植物群落であり、公園のシンボルともなっている。</p> <p>松くい虫被害で減少してしまったが、長年継続してきた防除対策により、近年被害が収束しつつあるため、施設の再整備を契機に、保全から再生への転機となる「保全・再生指針」を策定し、アカマツ林の再生活動を始めている。</p>							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>○森づくりボランティアや企業等と連携したアカマツ林の保全・再生活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域固有の遺伝子にも配慮し、落下種子由来のアカマツを育てていく。</li> <li>・活動団体は、随時募集し、各団体が年に1～2回程度下刈りなどを行う。</li> <li>・再生活動の実施時には、積極的に広報活動を行う。</li> </ul> <p>○アカマツ林再生に向けた調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・林業研究センターの協力を得て、調査を実施している。 (表土を掻き取った区と、草刈りだけ行った区のアカマツの成長を観察)</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<p>○ 新たな森林空間の活用により、多様な利用者層を呼び込むとともに、利用者が互いに安全・快適に利用できる施設を目指す。</p> <p>○ 周辺施設や公共交通、森林・林業関係者などと連携し、地域の活性化に寄与する。</p>								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
アカマツ林の 保全・再生活動	_____							
アカマツ林の 再生調査	_____							
施設の再整備	_____							



評価シート

取組番号	16		
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生		
令和2年度事業費	1,324千円 <small>県民参加の森づくり・緑化推進事業費の一部ほか</small>	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ アカマツ林保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民ボランティア(森林公園サポーター)による再生活動を実施した。</li> <li>・ しずおか未来の森サポーター企業による再生活動を実施した。(年2回)</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、サポーター活動や企業の森づくりは、感染症対策を実施しつつ、規模を縮小して開催した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 県民ボランティアや企業の活動をPRし、更なる参加者の確保に取り組んでいく。引き続き、感染症対策を実施しつつ、活動を継続していく。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 枯損木等の危険木について、H27 再整備計画により除却を進めた。引き続き、定期点検等により施設の状況を確認し、建物、林道、遊歩道等の周囲の樹木については、成長に合わせて除間伐等の維持管理を継続する必要がある。</p> <p>○ 園内林道について、H27 再整備計画により一部で劣化した舗装や安全施設の更新を進めた。引き続き、車両と、ウォーキング、ランニング、自然観察などの利用者が、互いに安全・快適に利用できるよう、安全施設の更新を実施する必要がある。</p>			
参考(写真・図表等)			
		<p>森林公園サポーター会員によるアカマツ林再生活動(下草刈り)</p>	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	18								
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進								
部局名/団体名	静岡県さくらの会			担当課		環境ふれあい課			
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上								
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発		<input type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input checked="" type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他		
概要	静岡県さくらの会ホームページにさくらの情報を掲載するとともに、さくら写真コンクールを開催し、国花である桜を県民に広く普及させる。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ ホームページでの桜情報の公開          県民が桜に親しむ機会を増やすため、県と市町が連携して県さくらの会ホームページに掲載している県内の桜の名所情報、開花状況等の情報提供を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内各地にある桜の種類や開花時期がわかる、さくらマップを作成する。</li> <li>・ 富士山に見える桜名所情報を発信する。</li> <li>・ ソメイヨシノ等春の桜の時期には、各地のさくら開花情報を毎日発信する。</li> </ul> <p>○ さくら写真コンクール          さくら愛護思想の普及と高揚を図るため、県内の桜を対象とした「さくら写真コンクール」を開催する。          入賞作品については誰でも利用できる環境を整え、チラシやポスターなどの広報媒体への活用要望があればすぐに提供できるよう作品を管理することで、桜の美しさを県内外に広くアピールする。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<p>○ さくらの会ホームページの改善のほか、さくら写真コンクール巡回展示の充実を検討し、情報発信力の強化を図っていく。</p> <p>○ さくらの会会員から、会員になっているメリットが見えないとの声があることから、各会員に対してどのようなサービスを提供できるか検討を進めるとともに、わかりやすい形でさくらの会のメリットを伝えていく。</p>									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
HPでの桜情報の公開	●さくらマップ作成			●HP改修					
さくら写真コンクール									

評価シート

取組番号	18		
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進		
令和2年度事業費	397 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 県民が桜に親しむ機会を増やすため、県さくらの会ホームページで県内の桜の開花状況を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月～3月の早咲き桜、3月下旬からソメイヨシノ等春の桜の時期に、各地のさくら開花情報を発信した。令和2年度は、早咲き桜(令和3年1月～)で23箇所、春の桜(令和3年3月中旬～)72箇所の情報提供を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、提供箇所数は微減した。</li> </ul> <p>○ 県内のさくらの魅力を広くアピールするため、「静岡県さくら写真コンクール」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度は、「桜の風景」、「富士山と桜」の2部門で実施した。前年度より52点多い709点の応募があり、その中から計18点の入賞者を決定し、表彰した。</li> <li>・ 入賞作品は県内2箇所で展示を行った。</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 開花情報提供では、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮し、安全に桜を楽しんでもらうため、静岡県の新型コロナウイルス感染症のページのリンクを掲載した。</p> <p>○ 静岡県さくら写真コンクールでは、応募点数を増やすため、募集チラシのカラー化、若者対象の特別賞新設、コンクール情報サイトへの掲載など広報に力を入れた。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ ホームページの改修を行うとともに、会員となっている市町と協力して名所・開花状況等の情報充実を図っていく。</p> <p>○ 静岡県さくら写真コンクールは、過去の入賞作品を使用してもらうため、会員や観光協会等へPRする。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 管理指標である「静岡県さくらの会ホームページアクセス数」では年450,000回アクセスを目標にしていたが、目標達成できない年度も多かったため、さくら写真コンクールの充実を図り、ホームページに誘導する。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
R2年度静岡県さくら写真コンクール 最優秀賞「夜明けの桜」		令和2年度は応募チラシをカラー化し、応募数の更なる増加を目指した。	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	19								
事業・取組名	さくらの保護育成								
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	環境ふれあい課						
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上								
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働					
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他					
概要	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで、県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ さくら功労者の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内で桜の愛護や植栽など、桜に関する著しい功績のある者を表彰する。</li> </ul> <p>○ さくら相談員派遣事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜の名所整備や桜の管理について、専門家による技術的な助言を行うことで、桜の保護や健全な育成を図る。</li> <li>さくら相談員が派遣される指導の場を桜に関する技術的な講習会として活用することで、市町担当者を中心に桜の保護育成に関する知識の周知を図る。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
○ 会員等による桜の保護技術の習得、向上を図り、地域での自主的な桜の保護育成活動を奨励するため、引き続き、さくら功労者の表彰及びさくら相談員派遣事業を実施する。									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
さくら功労者の表彰									
さくら相談員派遣事業の実施									



評価シート

取組番号	19		
事業・取組名	さくらの保護育成		
令和2年度事業費	96 千円	管理指標の有無	無

令和2年度の実績

- 令和2年度は5箇所へ専門家を派遣し、老木化した桜や生育の悪い苗木の管理方法について助言を行った。
  - ・ 5箇所のうち1箇所は、さくら保護士からの要望であり、勉強会のような形で実施し、該当地域のさくら保護意識の醸成、保護管理に関する知識・技術の向上を図った。
  - ・ 地域の桜保護管理について、指導者的役割を果たし、桜の健全な育成のために適切な措置を実行する「さくら保護士」を設置しているが、推薦者を市町の長から会員団体の長に拡充することで、幅広い人材の確保に努めた。
- 会員団体から推薦のあった6人を新しくさくら保護士に認定した。

令和2年度の実施にあたり考慮した点

- さくら相談員派遣事業を積極的に活用してもらうため、相談員派遣に関するチラシを作成し、会員、さくら保護士に配布した。事業を実施する際は、活動の参考としてもらうため、近隣のさくら保護士にも通知し、参加を促した。

令和3年度の予定

- さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業に継続して取り組む。
- さくら保護士のスキルアップを目指し、さくら相談員派遣事業への参加を促す。
- さくら相談員派遣事業を積極的に活用してもらうため、会員に事業のPRを行う。

短期目標値(2021/R3)に対する評価

- さくら相談員派遣事業を通じて桜の保護や健全な育成を図り、県内にある桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励した。

参考(写真・図表等)




さくら相談員派遣事業のチラシ

さくら相談員派遣事業の様子

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	20								
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール								
部局名/団体名	経済産業部			担当課		農芸振興課			
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上								
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	地域や学校等での花や緑の植栽や装飾に関するコンクールを開催し、花の都づくりを推進する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<input type="checkbox"/> 地域、学校、企業、個人等を対象とした花緑コンクールを開催する。 <input type="checkbox"/> 花緑コンクールの優秀な取組について、表彰するとともに、広報を行うことにより、花緑に関する取組の普及を図る。									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<input type="checkbox"/> 魅力的な生活空間の創出にかかる取組として、現時点では継続して実施する予定。 <input type="checkbox"/> 次期総合計画の活動指標に、当該項目を設定しない予定であり、本計画への管理指標設定は無しとし、代替指標については未定。									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
花緑コンクール	—————								

評価シート

取組番号	20		
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール		
令和2年度事業費	290 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 事業所や学校、地域及び個人の花・緑の取組を対象にコンクールを実施し、優良事例を全国コンクールへ推薦している。</p> <p>○ 令和2年度は、本県推薦事例のうち1事例が全国コンクール最優秀賞にあたる大臣賞を受賞した。          (1) 募集期間 令和2年6月5日(金)から11月6日(金)まで          (2) 応募件数 75件          (3) 受賞者数 最優秀賞5件、優秀賞7件、優良賞9件</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて応募数の減少が見込まれたため、関連事業の花緑出張サービスの活用と連動して応募の働きかけを実施した。</p> <p>○ 花緑活動に積極的な事業所等に周知を図り、同部門の応募数は前年対比156%増加した。          (事業所等を対象にした部門: 令和元年度9点→令和2年度14点)</p>			
令和3年度の予定			
○ 事業所等への周知を一層強化するとともに、花利活用場面を気軽に応募できるインスタグラム部門を新たに設け、花の利活用を推進する。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 目標値であるコンクール応募数120件については、年々応募数が減少しており、現在と同じ手法では目標達成は困難である。</p> <p>○ 課題として応募者の固定化と応募方法の煩雑さが考えられるため、令和3年度は事業所等への周知を一層強化するとともに、花利活用場面を気軽に応募できるインスタグラム部門を新たに設ける。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
国土交通大臣賞受賞者の庭園			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	21							
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム							
部局名/団体名	交通基盤部			担当課		道路保全課		
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動							
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input type="checkbox"/> 普及啓発		<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他	
概要	道路のある一定区間において、住民団体、学校、企業などの皆さんが、道路清掃や美化活動を行い、行政がこれを支援する。住民団体等と行政が互いに役割分担を定め、両者の協働のもと、美化を進める。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動に必要となる各種肥料・種子・苗・培養土等の消耗品の支給を行うことで自立発展的な活動の支援を行う。</li> <li>・ 活動中の事故に対する保険契約を締結し、活動団体のフォローを行う。</li> </ul> </li> <li>○ 地域や道路、環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県庁、各土木事務所のHPにて周知。</li> <li>・ 市町にもHPや広報誌を用いて広く周知。</li> </ul> </li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ 快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
活動の支援								
広報活動の実施								



評価シート

取組番号	21		
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム		
令和2年度事業費	3,510 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や道路美化活動を支援した。</p> <p>○ アダプト団体として、令和3年3月末現在で、182団体、活動延長155kmで同意書を締結している。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 地域住民や企業等の道路清掃や道路美化活動への物品支給等の支援を円滑に行うため、必要となる予算措置を行った。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 引き続き、快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援したことにより、快適な道路空間の確保が図れている。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
美化活動の様子			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	22							
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度							
部局名/団体名	交通基盤部			担当課		河川企画課		
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動							
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input type="checkbox"/> 普及啓発		<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働	
	<input type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input checked="" type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他	
概要	県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発する							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動に必要となる草刈機等の物品の貸与を行うとともに、必要に応じて軍手等の消耗品の支給を行うことで自立発展的な活動の支援を行う。</li> <li>・ 活動時の傷害・賠償責任保険契約を締結する。</li> </ul> </li> <li>○ 身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リバーフレンドシップによる活動の質的向上を図っていくため、活動団体からの意見の取りまとめや、他団体の活動の参考となる活動内容を収集・提供することで、各団体が自主的、主体的、継続的に活動が行える支援を継続していく。</li> </ul>								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
物品支給等による河川愛護活動のための支援								
意識啓発のための広報活動								

評価シート




取組番号	22		
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度		
令和2年度事業費	21,644 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
<p>○ 河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リバーフレンドとして、R2年度は新たに12団体と同意書を締結した。 (R3年3月末現在で、642団体、延長約757kmで同意書を締結)</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 高齢化などにより、継続的な活動が困難となる団体が増える傾向にあることから、課題の把握や対応の検討のため、アンケート調査を実施した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ リバーフレンド活動を通じて、地域で「みんなの川」を「みんなで守っていく」意識を高め、併せて、身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図っていく。</p> <p>○ パンフレットやホームページ等を通じて、制度内容の周知を徹底するとともに、リバーフレンドと意見交換を行い、活動団体への支援や制度改善に努めていく。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する目的で、平成29年度から令和2年度の間、87団体と同意書を締結し、活動支援を行った。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
活動状況【(二)滝ノ谷川 滝沢町内会 藤枝市】		活動団体向けパンフレット	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	23								
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト								
部局名/団体名	経済産業部			担当課		～R2 農地整備課 R3～ 農地保全課			
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動								
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	農業・農村の有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの様々な働き(多面的機能)を維持・発揮させるため、「ふじのくに美農里プロジェクト」により、農業者や地域住民による地域資源(農地・水路・農道等)を保全する共同活動への支援を行う。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付し、活動の支援を行う。</li> <li>○ 活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)や、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)など、農村環境の保全のための活動に取り組む。</li> <li>○ 少子高齢化による農村地域の人手不足を改善し、活動の継続・拡大を図るため、地域内外に対する広報活動を積極的に行い、地域に潜在する多様な主体(農業者以外の住民、女性、障害者等)の参画や、地域外の都市住民との都市・農村間の交流を促進する。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
○ 県HP等による活動事例の紹介や、記者提供による活動予定の広報を引き続き行う。									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
県HP等による活動事例の紹介									
記者提供による活動予定の広報									





評価シート

取組番号	23		
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト		
令和2年度事業費	763,262 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付した。(R2活動組織数: 233、交付対象面積: 13,400ha)</p> <p>○ 活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)や、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)など、農村環境の保全のための活動に取り組んでいる。</p> <p>○ 農業者だけでなく農業者以外の参加や、地域内外の参画者・交流人口を増やすため、記者提供等による活動予定の広報や、ホームページに活動報告を掲載した。</p> <p>○ H30に創設された「関東農政局多面的機能発揮促進事業 局長表彰」において、藤枝市の活動組織が最優秀賞を受賞した。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 局長表彰は、コロナ感染症拡大防止対策のため関東農政局で開催されなかったが、藤枝市長に受賞報告を行った際、記者提供を行い、新聞に掲載された。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 引き続き、記者提供等により、活動予定の広報を行っていく。</p> <p>○ 表彰制度等を活用するなど、優良な活動・取組については、県内外へ周知すべく広報を行う。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ コロナ禍により、総会等の密になりやすい取組は縮小したが、年間を通じた活動参加者自体は現状維持である。</p>			
参考(写真・図表等)			
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>令和2年度ふじのくに美農里プロジェクト (多面的機能支払交付金)活動解説ファ</p> <p>関東農政局多面的機能発揮促進 事業</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	24								
事業・取組名	一社一村しずおか運動								
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課						
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動								
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	<p>農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を生かした双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、農山村と企業の要望を県がコーディネートする取組。</p> <p>平成30年1月末時点で34の農山村地域と39の企業団体が認定されている。</p>								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農山村と企業等とのマッチング・コーディネートの推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源の保全や活性化に課題を持つ農山村と、環境改善や地域社会への貢献に関心の高い企業のマッチングを図るとともに、両者の活動をコーディネートすることで協働活動を推進する。</li> <li>・ 企業側へ事業周知を図るため、本事業実施によるメリット等を記載したパンフレット配布やイベント等でのPRを行う。</li> </ul> </li> <li>○ 広報誌等による取組状況の紹介といった活動支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌「里風通信」にて、「一社一村しずおか運動」に取組む「企業」と「農山村」の活動の様子の先駆的な優良事例を情報発信する。(年2回発行)</li> </ul> </li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農村と企業等とのマッチング・コーディネートの推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むらづくりワンストップ窓口やオンラインプラットフォームの活用等により、地域資源の保全・活用に課題を持つ農村と、社会貢献等に関心の高い企業のマッチングを図る。</li> </ul> </li> <li>○ 優良事例の広報による活動支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県や「むらサポ」のホームページを通じて「企業」と「農村」が連携した先駆的な優良事例を情報発信する。</li> </ul> </li> </ul>									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
農村と企業等とのマッチング・コーディネートの推進									
優良事例の広報による活動支援									
広報誌「里風通信」の発行	●年2回発行								

評価シート

取組番号	24		
事業・取組名	一社一村しずおか運動		
令和2年度事業費	— 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 新たに、1組の農山村と企業の取組が認定され、令和2年度までに38農山村地域と44企業団体を認定。</p> <p>○ 令和2年度は、協働により、草刈や農作物の植付け・収穫といった農地保全活動、桜の植樹や芝桜の植栽等による地域の景観向上等の取組が行われた。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に主眼を置き、地域外からの参加が想定される活動については自粛を要請した。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 企業と農山村のマッチング推進のため、優良事例集での広報を行う。</p> <p>○ 県HPやむらサポHP等のウェブサイトを活用した情報発信を行う。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 活動数と参画者数は、一昨年度までは増加傾向にあったが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動の中止や規模を縮小して実施した地域があったため、参画者数が減少した。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
協働によるサクラの植栽		協働によるサザンカの植栽	
<p>一社一村しずおか運動 活動の様子</p> <p>水見色町内会(静岡市葵区)×中日本高速道路株式会社</p>			

# 緑化推進計画 事業個票

取組番号	25								
事業・取組名	森づくり県民大作戦								
部局名/団体名	くらし・環境部			担当課		環境ふれあい課			
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動								
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備		<input type="checkbox"/> 人材育成		<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発		<input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働		
	<input type="checkbox"/> 緑化維持		<input type="checkbox"/> 緑化支援		<input type="checkbox"/> 広報		<input type="checkbox"/> その他		
概要	環境ふれあい課のホームページに、各森づくり団体が開催する森づくりイベントを掲載するとともに、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催し、県民総参加による森づくりを推進する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民が森づくり活動に参加できる機会を提供するため、森づくり団体等が開催する森づくりイベントを環境ふれあい課ホームページに掲載する。</li> <li>○ 森づくり活動への新規参加者を確保するため、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催する。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主催者・参加者双方が新型コロナウイルス感染症対策を定着させ、安心して活動に取り組めるよう、引き続き支援していく。</li> <li>○ 森づくり団体の自主的な活動を広げ、県民が森づくり活動に参加する機会を増やすため、多くの行事が開催される、秋の3か月間を、引き続き重点期間とし、効果的な広報を行う。</li> <li>○ 森づくり団体の持続的な活動や、新たな担い手としての企業の参加を促進するため、森づくり団体・地域住民・企業・市町等といった、多様な主体が連携した行事を実施する。</li> <li>○ 社会貢献活動に取り組む企業に対し、森づくり活動のパートナーとなる、森づくり団体とのマッチングを支援する。</li> </ul>									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
HPでの森づくりイベントの情報発信									
農林事務所主催イベントの開催			農林事務所と団体の共催、サポートへ移行(より民間主体へ)						

評価シート

取組番号	25		
事業・取組名	森づくり県民大作戦		
令和2年度事業費	1,324千円 県民参加の森づくり・緑化推進事業費の一部ほか	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 令和2年度の森づくり県民大作戦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事数、参加者数ともに減少した。このため、行事主催者に向けた感染症対策の留意事項をまとめたリーフレットの配布や、感染症対策を徹底したモデルイベントの開催などにより、安全・安心な新しい森づくり活動の普及をおこなった。(648行事が開催され、延べ11,898人が参加)</p> <p>○ 一般公募を行うイベントなどの情報を、環境ふれあい課ホームページに掲載したほか、春、秋の重点期間をお知らせするチラシに、参加者への感染症対策への協力をお願いを追加し、市町、図書館、スポーツ用品店などに配布した。</p> <p>○ チラシに一部の森づくり団体の概要を掲載し、主催者(団体)の顔がより見える内容とした。</p> <p>○ 農林事務所において、森づくり県民大作戦として、8行事を開催した。(うちモデルイベント3)</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○ 新型コロナウイルス感染症対策の留意事項をとりまとめたリーフレットを作成するなど「新しい森づくり活動」を普及した。			
令和3年度の予定			
○ 森づくり団体の高齢化や、活動を通じた都市住民や企業との連携のため、依然として新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められていることから、引き続き前述のリーフレット等を活用しながら、安全・安心な森づくり活動を普及する。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 管理指標である「森づくり県民大作戦参加者数」毎年度28,000人に対して、平成30年度では28,271人、令和元年度で28,149人と目標を達成しており、森づくり団体による行事が継続されている。			
○ 令和2年度前半には新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数、行事数ともに過去3年度の平均を下回ったが、行事数は年度後半にはほぼ回復している。			
参考(写真・図表等)			
			
感染症対策を実践した自然体験プログラム		森づくり団体との意見交換や専門家からのアドバイスを受けて作成したリーフレット	

# 緑化推進計画 事業個票

取組番号	26							
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター							
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課			
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動							
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進							
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備	<input type="checkbox"/> 人材育成	<input checked="" type="checkbox"/> 普及啓発	<input type="checkbox"/> 連携・協働				
	<input type="checkbox"/> 緑化維持	<input type="checkbox"/> 緑化支援	<input checked="" type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> その他				
概要	しずおか未来の森サポーター企業及びふじのくに森の町内会への参加企業数を増やすことが、森林整備及び緑化推進に寄与することから、広報や普及啓発により参加を促進する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
<p>(1)しずおか未来の森サポーター企業の参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の森づくり活動の県ホームページへの掲載やパンフレット作成による普及啓発。</li> <li>・表彰の実施による活動企業の取組に感謝の意を表し、更なる活動継続を促す。さらに表彰のPR効果により、新規企業への広報とする。</li> </ul> <p>(2)ふじのくに森の町内会への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・普及啓発により森の町内会への参加を促進する。</li> </ul>								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様化している企業の社会貢献活動へのニーズに応えるため、森づくりや地域緑化を通じた課題解決などを、サポーターメニューに反映させていく。</li> <li>○ 企業が地域や森づくり団体と協働し、本業を活かしながら、持続的な活動を実施できるよう、県は、ハード(対象森林)、ソフト(活動内容)に加え、人材(活動を補助するNPO法人など)のマッチングを行い、より多くの企業の参加を促進していく。</li> </ul>								
管理指標設定の有無								有
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
しずおか未来の森サポーター企業の参加促進(HP掲載等)	—————							
ふじのくに森の町内会への参加促進	R2.9から制度の運営主体を県から民間団体へ移行						未定	
しずおか未来の森サポーター企業の表彰	—————							

評価シート



取組番号	26		
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター		
令和2年度事業費	1,324千円 県民参加の森づくり・緑化推進事業費の一部ほか	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○しずおか未来の森サポーター企業は、新たに3社と協定を締結するとともに、「紙」の購入を通して手軽に森づくりに参加できる「ふじのくに森の町内会・間伐に寄与する紙」制度に1社が参加し、令和2年度末で累計134社となった。</p> <p>○長年優れた活動を継続しているサポーター企業に対する表彰制度（平成30年度創設）により、活動実績10年経過した企業への知事表彰（4社）及び活動実績5年経過した企業への知事褒章（1社）の授与式を行った。</p> <p>○ふじのくに森の町内会については、制度開始から10年が経過し、より一層森林とのつながりが見える取組を目指し、令和2年9月から、制度の運営主体を県から民間団体（静岡市林業研究会）へ移行（県は引き続き企業の認定や紙の利用実績に応じた貢献証書の発行等を行う）。</p>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○企業ニーズに応じた活動の提案を行い、フィールドや企業をサポートする森づくり団体等とのマッチングを図った。			
令和3年度の予定			
○社会貢献活動に加えて、生物多様性の保全やSDGs等、森づくりと関連の深い取組に関心のある企業等に対して制度を普及し、森づくりへの参加を促していく。			
短期目標値（2021/R3）に対する評価			
○管理指標は「しずおか未来の森サポーター企業数」で、短期目標値は令和3年度末で136社だが、令和3年6月末時点で137社となり、目標を上回る実績があった。			
参考（写真・図表等）			
			
しずおか未来の森サポーター 協定締結式		しずおか未来の森サポーター 知事表彰	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	27							
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり							
部局名/団体名	経済産業部			担当課		森林保全課		
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動							
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進							
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他							
概要	遠州灘海岸で進めている「ふじのくに森の防潮堤づくり」を県民参加で推進する。							
緑化推進に関する配慮事項、進め方								
○ ふじのくに森の防潮堤づくりの実施にあたっては、県民との協働による海岸防災林の再整備・機能強化を進めるため、地域住民や地元企業による植樹祭等を実施する。								
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方								
○ 令和4年度以降もふじのくに森の防潮堤づくりは継続することから、引き続き県民参加の植樹祭等を実施していく。								
管理指標設定の有無								無
事業・取組のスケジュール								
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7
県民参加による植樹祭等の実施								







評価シート

取組番号	27		
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり		
令和2年度事業費	－ 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県民参加の植樹祭等は全て中止した。			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
－			
令和3年度の予定			
○新型コロナウイルス感染症の警戒レベルに基づき、開催について検討する。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 海岸防災林は、有事には津波の被害軽減効果を発揮し、平時には潮害や防風、飛砂防備等の効果だけでなく、住民の憩いの場として利用されるよう、行政と地域が協力して中長期間にわたって適切に管理していく必要があり、自治会等地域住民の植樹作業への参加などにより、植栽木の管理等への協力の意識が醸成できた。			
参考(写真・図表等)			
			
植樹活動の様子			

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	28								
事業・取組名	緑化グループ支援事業								
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課						
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動								
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進								
取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化維持	<input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 広報	<input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> その他					
概要	本事業は、地域緑化活動の推進及び花と緑にあふれた潤いのある空間づくりを促進し、県民の緑化思想の高揚に寄与するため緑化活動を実施するボランティアに対し、その活動に要する経費を支援する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<p>○ 令和2年度の支援団体は143団体あり、その緑化活動は、花壇のデザイン、緑化資材の購入、植栽活動等を自ら企画して行う「緑化活動自立型団体」といえる。ちなみに、県内には、公共的花壇を管理する団体は約2,600件あるが、その9割強は、定期配布事業の緑化資材を活用する「緑化資材提供活用型団体」である。</p> <p>○ 緑化グループ支援事業で支援する緑化活動自立型団体は、143件と少ないが、そのほとんどの団体は、グリーンバンクの研修の成果を活かし、特色のある花壇づくりを展開し、市町の評価も高い。中には、地域の児童や生徒との交流による植栽活動やイベント(花火大会、よさこい踊り等)を開催するなど、地域コミュニティーの中核的な団体もあるため、今後、緑化活動自立型団体の発掘と支援の強化を図り、育成については、グリーンバンク主催研修会への参加を促す。</p>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<p>○ 令和4年度以降も下表の通り緑化活動自立型団体の発掘に努めるが、両制度とも助成期間が5年間であり、今後、令和7年度をピークに団体数の増加に伴い助成額も増えるので、緑化グループ支援団体をベースに、その財源の確保に努める。なお、育成に関しては、例年実施する「花壇づくり研修会」「緑化コーディネーター養成講座」で対応する。</p>									
								管理指標設定の有無	無
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
高齢者生きがい創造花壇グループ									
学校緑化活動グループ									
緑化グループ支援									



評価シート

取組番号	28		
事業・取組名	緑化グループ支援事業		
令和2年度事業費	17,288 千円	管理指標の有無	無
令和2年度の実績			
○ 支援団体数143団体(うち県補助対象119、バンク補助対象24件) うち20団体は、静岡県経済産業部主催の花・緑コンクールへの応募団体である。			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
○ 利用団体の発掘 制度利用団体数は5年前と比べ横ばい傾向にある。その背景には、新規の団体数同様に会員の高齢化を理由に解散する団体も同数あることが原因である。そこで定期配布事業を通じて緑化団体と接触の多い市町担当者や緑化専門家に緑化グループ支援事業のPRをお願いしたところ、例年、新規団体は10件程度であるが、21団体と倍増した。			
令和3年度の予定			
○ 緑化活動自立型団体の支援策として、令和3年度「緑化グループ支援事業」の中に、新たに「高齢者生きがい創造花壇グループ支援事業」「学校緑化活動グループ支援事業」を追加した。この背景には、緑化グループ支援事業の助成期間10年の終了と会員の高齢化を理由に解散する団体があるが、会員の中には、緑化活動に生きがいを感じて継続を希望する者もあり、これら高齢者の意欲と豊富な緑化知識を活かせるよう「高齢者生きがい創造花壇グループ支援事業」を設け、令和3年度は助成期間が終了した32件の組織化を進めている。			
○ 緑化資材提供活用型団体の中に学校関係が約373件ある。これらの団体に緑化活動自立型への移行を進め、かつ、支援できるよう「学校緑化活動グループ支援事業」を設け、令和3年度6件のチャレンジ校を募集している。			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
○ 公共的緑化施設の維持管理は毎年多くの人手と資金を必要とするが、緑化ボランティア団体の活動により市町の負担は軽減し、花と緑を通じて地域のコミュニティー形成に多大な貢献をしている。			
参考(写真・図表等)			
 <p>柳川緑道やる会</p>		 <p>新居文化公園バラの会</p>	
 <p>交流イベント (花火大会)</p>		 <p>鮫友会 ビオトープ</p>	

## 緑化推進計画 事業個票

取組番号	29								
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用								
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	環境ふれあい課						
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動								
基本施策	(6)緑化活動の核となる人材の育成								
取組項目	<input type="checkbox"/> 緑化整備 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 連携・協働 <input type="checkbox"/> 緑化維持 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化支援 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> その他								
概要	緑化の技術・知識などを持った、地域活動の核となる人材を育成するとともに、庭園デザインの専門家などを各地域に派遣し、緑化活動を支援する。								
緑化推進に関する配慮事項、進め方									
<input type="radio"/> 緑化コーディネーターの養成 既存の緑化ボランティア研修の内容を一部見直し、緑化に関する複数の専門知識に加え、活動のマネジメント力を持ち行政や活動団体と連携を取りながら地域の緑化活動の核となって活動できる人材を育成する緑化コーディネーター養成コースを開催する。									
<input type="radio"/> 人材バンクの設置・活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化コーディネーターの要件を定め、人材バンクを設置する。</li> <li>・ 緑化コーディネーター養成コースの修了生や造園業などの専門家を、緑化コーディネーターとして認定し、人材バンクに登録する。</li> <li>・ 得意分野を明らかにした緑化コーディネーターの名簿を公表し、緑化コーディネーターの活用を促進し、活躍の場を提供する。</li> </ul>									
<input type="radio"/> 専門家の派遣を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域での緑化活動に関して、専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。</li> </ul>									
短期目標以降(令和4年度以降)の進め方									
<input type="radio"/> 引き続き、各種講座を開催して緑化活動の核となる人材を育成するとともに、専門家などの派遣を通じ、各地域の緑化活動を支援する。									
								管理指標設定の有無	有
事業・取組のスケジュール									
項目	H30	R1	R2	R3 (短期目標)	R4	R5	R6	R7	
緑化コーディネーターの養成	研修体系見直し								
人材バンクの設置・活用	設置			登録・活用					
専門家の派遣を支援									

評価シート

取組番号	29		
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用		
令和2年度事業費	2,993 千円	管理指標の有無	有
令和2年度の実績			
<p>○ 地域の行政や企業、活動団体などを有機的につなぐマネジメント力を持つ人材を育成する緑化コーディネーター養成講座を開催した。(2,094千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度は募集人員21人に対して、20人が受講、15人が修了した。</li> </ul> <p>○ 以下のとおり専門家を派遣した。(899千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化グループ支援事業の新規申請団体巡回(21件巡回42回)</li> </ul>			
令和2年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ コロナウイルス感染予防対策への配慮</p> <p>○ 過去の研修は、回数ごとに異なる講師での研修により内容的に統一感が薄れた。そこで本年度は、「緑化コミュニティを育む術を習得」をテーマに、同じ専門家で実施したことで、一貫した研修内容を展開できた。</p>			
令和3年度の予定			
<p>○ 緑化ボランティアに携わる方々の高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響等により、緑化活動にも支障が出ている中で、花や緑を愛でることで繋がる人の輪、育まれる地域の和である緑化コミュニティの重要性は増しているため、令和3年度は、コミュニティ形成に関する内容を充実し実施する。</p>			
短期目標値(2021/R3)に対する評価			
<p>○ 管理指標である「緑化コーディネーター養成講座開催回数」毎年度3回について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1回となったが、令和元年度、平成30年度はいずれも3回開催することができた。その結果、令和2年度末までに54人(H30.20人、R元. 19人、R2. 15人)が修了し、地域における緑化活動の核となる人材育成を着実に進めている。なお、旧上級者研修の修了者は234人いる。</p>			
参考(写真・図表等)			
<p>緑化コーディネーター養成講座</p> 		<p>緑化グループ支援事業新規団体巡回指導(東部花あそびの会)</p> 	

白 紙

## 2 管理指標

# 管理指標

## ①花と緑を慈しむ文化の創造

目 標	実績	短期目標値	令和4年度 以降の扱い	総合計画 目標値 (案)	緑化推進 計画目標値	担 当	関連する主な取組
	2020/R2	2021/R3	継続・廃止	2025/R7	2027/R9		
自然ふれあい施設における 自然体験プログラム実施回数	141回	毎年度 160回	継続	毎年度 180回	検討中	環境ふれあい課	4 里山学習施設の管理運営及び プログラムの提供
豊かな暮らし空間創生住宅地 の 区画数	累計 314区画	累計 400区画	継続	累計 600区画	累計 700区画	住まいづくり課	8 豊かな暮らし空間創生
芝生の巡回指導等管理状況が 良好と評定された園庭・校庭 数 (旧：芝生が適正に維持管理 された園庭・校庭数)	累計 23箇所	累計 25箇所	継続	累計 45箇所	累計 55箇所	環境ふれあい課	9 芝生地の普及支援、管理支援
グリーンバンクで支援してい る 緑化活動団体数	187団体	200団体	廃止	—	—	環境ふれあい課	1 9 緑化資材の提供 芝生地の普及支援、管理支援
【新規】地域の緑化活動団体 数	187団体	—	新規	累計 300団体	検討中	環境ふれあい課	1 9 緑化資材の提供 芝生地の普及支援、管理支援
複数の園庭・校庭に芝生を 導入している市町数	18箇所	(2027年度) 35市町	継続	35市町	検討中	環境ふれあい課	9 芝生地の普及支援、管理支援
緑化コーディネーター、 芝生アドバイザー派遣箇所数	71箇所	65箇所	継続	80箇所	検討中	環境ふれあい課	1 緑化資材の提供 10 芝生地アドバイザーの育成・ 活用
緑化優良工場としての受賞件 数	累計 85件	(2027年度) 累計80件	継続	累計 80件	検討中	企業立地推進課	12 工場緑化セミナー

## ②花と緑による地域の魅力向上

目 標	実績	短期目標値	令和4年度 以降の扱い	総合計画 目標値 (案)	緑化推進 計画目標値	担 当	関連する主な取組	
	2020/R2	2021/R3	継続・廃止	2025/R7	2027/R9			
おもてなし空間整備箇所数	8箇所	7箇所	廃止	—	—	環境ふれあい課	14 花と緑のおもてなし空間整備支	
静岡県さくらの会 ホームページアクセス数	341,127 回	毎年度 450,000 回	継続	毎年度 450,000回	検討中	環境ふれあい課	18 さくら愛護思想普及の推進	
県主催花緑コンクールの 応募件数	75件	120件	廃止	検討中	検討中	農芸振興課	20 ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール	
参 考 指 標	全国花のまちづくり コンクール受賞件数	累計 122件	累計 195件	継続	累計 195件	検討中	環境ふれあい課	—
	市町主催花緑 コンクールの応募件数	408件	700件	継続	700件	検討中	環境ふれあい課	—



### ③社会総がかりの緑化活動

目 標	実績	短期目標値	令和4年度 以降の扱い	総合計画 目標値 (案)	緑化推進 計画目標値	担 当	関連する主な取組
	2020/R2	2021/R3	継続・廃止	2025/R7	2027/R9		
森づくり県民大作戦参加者数	11,898人	毎年度 28,000人	継続	毎年度 28,000人	検討中	環境ふれあい課	25 森づくり県民大作戦
ふじのくに美しく品格のある 邑づくり参画人数	73,058人	80,000人	廃止	—	—	農地局	6 しずおか棚田・里地くらぶ 23 ふじのくに美農里プロジェクト 24 一社一村しずおか運動
【新規】ふじのくに美しく 品格のある邑づくり関係人口	73,058人	—	新規	検討中	検討中	農地保全課	6 しずおか棚田・里地くらぶ 23 ふじのくに美農里プロジェクト 24 一社一村しずおか運動
しずおか未来の森サポーター 企業数	134社	136社	継続	144社	検討中	環境ふれあい課	26 しずおか未来の森サポーター
緑化コーディネーター養成講 座開催回数	1回	毎年度 3回	廃止	—	—	環境ふれあい課	29 緑化コーディネーターの育成・活用
【新規】緑化コーディネー ター養成講座修了者数	累計 141人	—	新規	累計 390人	検討中	環境ふれあい課	29 緑化コーディネーターの育成・活用

白 紙